

7/5
(月)

身近な魅力の発信へ だてフォト部委嘱状交付式

伊達市役所

ceremony

身 身近な魅力を発信する「だてフォト部」部員への委嘱状交付式を市役所で行いました。第1期生となる部員は6人の市民と1団体。活動は、市が管理する「だてフォト部」公式インスタグラム、フェイスブックを通して、景色や食べ物など身近な伊達市の魅力を写真や動画で発信していくものです。任期は7月から1年間。



身近な魅力を発信する「だてフォト部」部員への委嘱状交付式を市役所で行いました。第1期生となる部員は6人の市民と1団体。活動は、市が管理する「だてフォト部」公式インスタグラム、フェイスブックを通して、景色や食べ物など身近な伊達市の魅力を写真や動画で発信していくものです。任期は7月から1年間。

7/8
(木)

自治組織や自主防災会が参加 コロナ禍の避難所開設訓練

大田地区交流館

training

避 難所開設訓練は市内5地域で開かれ、このうち保原地域では大田地区の自治組織や自主防災会の会員ら約20人が参加しました。市の防災支援専門官からコロナ禍における避難の注意点などを聞いた後、避難者の受入方法やパーティションの設置方法を学びました。参加者は、質問しながら熱心に訓練に取り組んでいました。



避難者の受入方法やパーティションの設置方法を学びました。参加者は、質問しながら熱心に訓練に取り組んでいました。

7/12
(月)

桃のトップセールス 北海道で伊達市農産物をPR

北海道札幌市・旭川市

event

出 荷が本格化する「桃」の消費拡大を図るため、北海道札幌市・旭川市でトップセールスを行いました。北海道庁のほか、札幌市・旭川市の市役所、卸売市場、量販店などを表敬訪問。昨年ではせん孔細菌病、本年は凍霜害で大きな被害を受けた桃ですが、消費拡大に向けて、伊達の生産者の誇りや思いを伝えました。



昨年ではせん孔細菌病、本年は凍霜害で大きな被害を受けた桃ですが、消費拡大に向けて、伊達の生産者の誇りや思いを伝えました。

6/17
(木)

幸せがつながるまちへ 市民ワークショップ報告

伊達市役所

ceremony

市 民総選挙で伊達市ブランドメッセージが決まったことを受け、シティプロモーション市民ワークショップの活動を須田市長に報告しました。須田市長は「想いが込められた素晴らしいメッセージを活用していきたい」と挨拶しました。ワークショップでは昨年9月から市の魅力を洗い出し、ブランドメッセージ案を作り上げました。



民総選挙で伊達市ブランドメッセージが決まったことを受け、シティプロモーション市民ワークショップの活動を須田市長に報告しました。須田市長は「想いが込められた素晴らしいメッセージを活用していきたい」と挨拶しました。ワークショップでは昨年9月から市の魅力を洗い出し、ブランドメッセージ案を作り上げました。

6/24
(木)

来春の伊達市総合型地域 スポーツクラブ設立に向けて

伊達市役所

meeting

第 1回伊達市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を市役所シルクホールで行いました。この準備委員会は、スポーツ活動を通して会員の健康増進を目指すスポーツクラブの設立に向けて、準備を進めるものです。役員選出では、会長に三島弘司さん（伊達市体育協会会長）が選ばれ、来春の設立に向けてスタートしました。



役員選出では、会長に三島弘司さん（伊達市体育協会会長）が選ばれ、来春の設立に向けてスタートしました。

7/2
(金)

電子黒板やタブレットを駆使 月舘学園でICT公開授業

月舘学園

event

市 内ICT教育の先進地域である月舘学園の公開授業に、県や市内小中学校から約60人の教員が訪れました。小学5年の理科の授業では「植物の発芽と成長に日光や肥料は必要か」をテーマに討論。児童が作った観察結果を電子黒板に映しながら、タブレットで通信して意見を集約するなど、技術を駆使した授業が行われていました。



児童が作った観察結果を電子黒板に映しながら、タブレットで通信して意見を集約するなど、技術を駆使した授業が行われていました。